



日本プロセス

JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

目には見えないけど、ITのちからで社会を支える仕事です。



入社案内

ITのちからで社会の基盤と未来の幸せを支える。 地球環境に優しく、持続的成長が可能な ICT社会の実現に向けて、 品質・性能を追求したソフトウェア技術を提供しています。

価値観が大きく変化する時代。
スマートフォン片手に街に出れば、
電車に乗れキャッシュレスで買い物ができ、
あらゆる情報も手に取るように判ります。
自動運転、ビッグデータ、ディープラーニング、
最先端のテクノロジーが世界を突き動かします。
急激な社会構造の変化に対応し、
「未来に必要な社会インフラ」を創造する。
日本プロセスのモノづくりが、
人の暮らしと社会の安全を支えています。



社会を支える 5つの事業

日本プロセスは、社会インフラを支える
制御・組込系のシステム開発を中心に、
新幹線などの鉄道運行管理システムや
自動車の自動運転システムなど
高度な品質を求められる
分野を担っています。

制御システム事業

- ・発電所監視・制御システム
- ・配電自動化システム
- ・新幹線運行管理システム
- ・JR在来線運行管理システム
- ・東京圏輸送管理システム

自動車システム事業

- ・パワートレイン制御
- ・自動運転/高度運転支援システム
- ・インフォテインメントシステム

産業・ICTソリューション事業

- ・自動券売機/駅務機器
- ・人工衛星システム
- ・IoTセキュリティ
- ・ロボティクス

特定情報システム事業

- ・衛星画像地上システム
- ・画像解析システム
- ・地理情報システム
- ・リモートセンシングシステム

組込システム事業

- ・半導体記憶装置
- ・IoT建設機械
- ・医療機器

日本プロセスの技術が、暮らしを支えています

たとえば・・・
自動運転システムで
安全で快適な社会を実現します

たとえば・・・
画像認識技術を活用して
防災・危機管理に取り組んでいます

たとえば・・・
定刻・安全な新幹線の運行管理
システムを開発しています

たとえば・・・
AIやロボティクスなど
先端技術を組み合わせた
幅広い分野のシステム開発をしています

たとえば・・・
さまざまな技術を駆使して
便利で安心なIoT社会を実現します

Contents

- 01 ICT社会の実現に向けて
- 03 社員紹介
- 05 人材育成プログラム
- 07 キャリアパス
- 07 福利厚生・職場環境
- 09 数字で見る日本プロセス
- 10 トップメッセージ

社員紹介

さまざまなフィールドで活躍する社員の1日をご紹介します

WorkStyle 1

中国現地法人への海外出張は、 管理職として成長するエンジンとなった

自動車のトランスミッションに関するプロジェクト管理者として、中国(大連)の子会社へ3カ月の海外出張を経験しました。仕様の伝達や品質確認など苦労の連続でしたが、現地の社員と一丸となり目標を達成し、無事完遂できた時の喜びは格別でした。現在は世界的にニーズが高まっている自動運転システムの開発に携わっています。

自動車システム事業部
2001年入社

西田 哲也



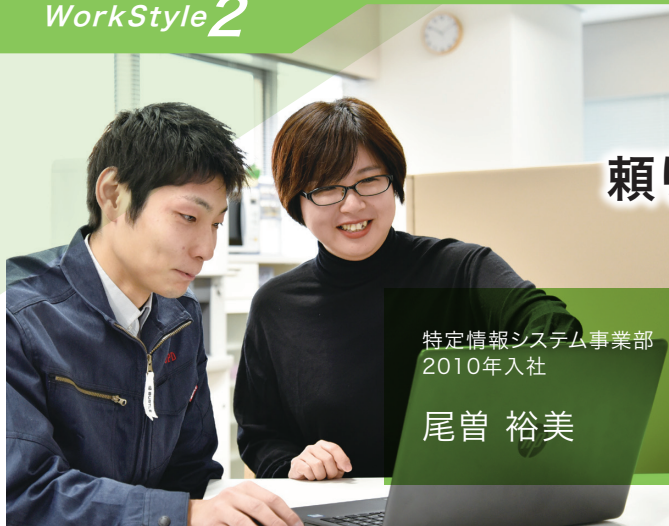
WorkStyle 2

エンジニアとして成長し、 頼りにされるリーダー職を目指す

説明会で生き生きと働く女性社員の姿にひかれ、当社への入社を決断しました。技術者として男女平等に評価される環境で、同僚や得意先に頼りにされるリーダー職を目指しています。現在はビジネスモデリングや分析、設計などのUMTP認定試験のL3合格と、情報処理安全確保支援士資格を取得するために勉強中。高度なIT人材になることが目標です。

特定情報システム事業部
2010年入社

尾曾 裕美



WorkStyle 3

テレワークやデータセンターなど、 時代の求めるモノを形にする

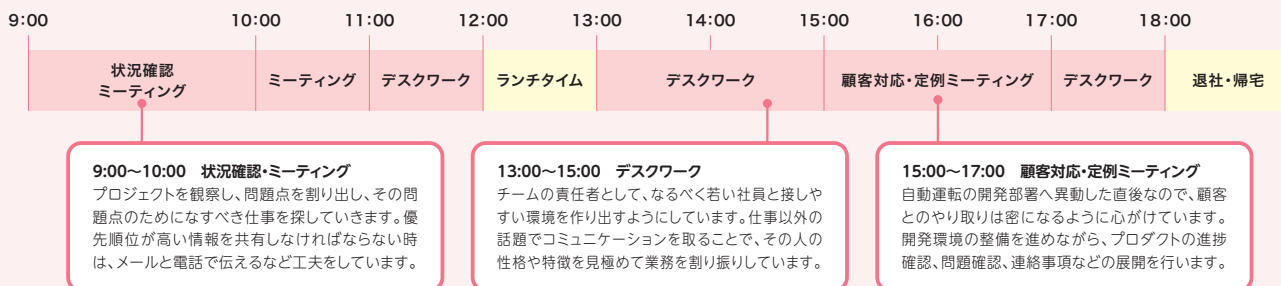
サーバー構築やインフラ構築の分野は、日々新しい機器やプログラムがリリースされており、最新の技術を吸収できる魅力があります。大規模なシステム構築案件では、製品の仕様を理解し、資料にまとめるロジカルな思考と、伝え方などの提案力が求められます。「伊勢崎じゃないと難しい」と認めてもらえることが、なにより仕事の励みになります。

産業インフラシステム事業部
2010年入社

伊勢崎 敬志



■ 1日のスケジュール

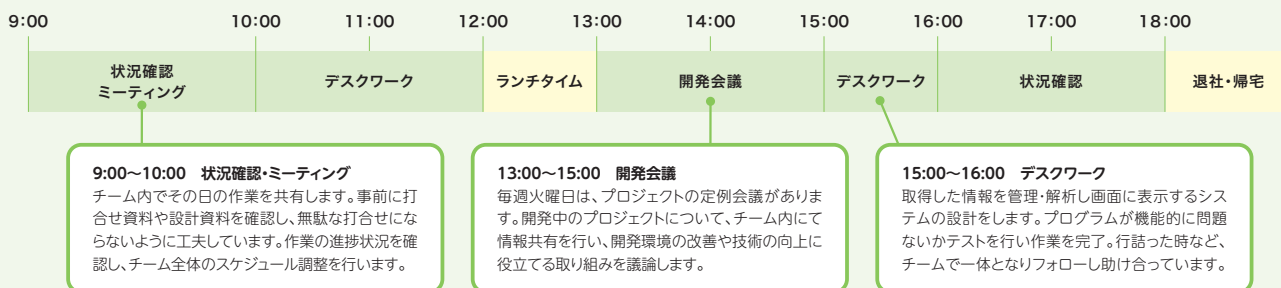


私のリフレッシュ方法

仲間たちとのゴルフやキャンプでアウトドアを満喫

昨年まで過ごした茨城地区周辺には、ゴルフ場やキャンプ地が多く存在しており、自然豊かな環境でリフレッシュをしていました。横浜地区配属後は、テーマパークや名所めぐりのほか、アジアを中心に海外旅行に行くことも趣味になりました。

■ 1日のスケジュール

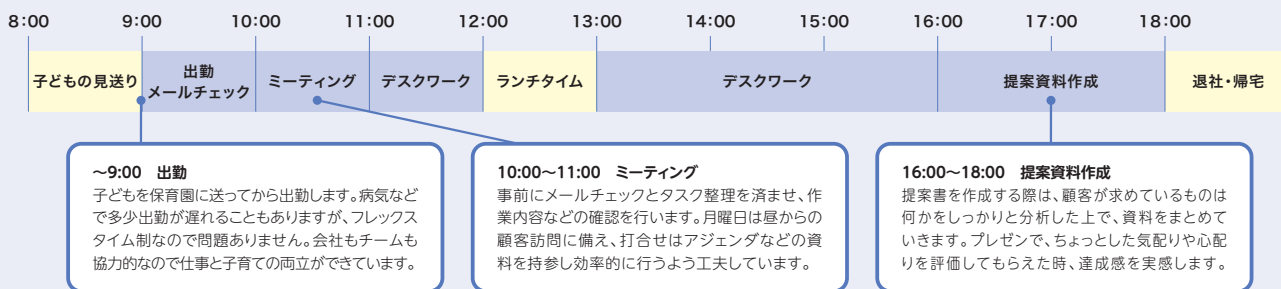


私のリフレッシュ方法

休日はグルメやバドミントン、ジム通いで体調管理も万全

休日はオンオフ切り替えて、同期とのグルメの食べ歩きやバドミントンなどのスポーツをして、アクティブに過ごすことが多いです。肉料理とお酒を飲むことが好きなので、週3回のジム通いで体調管理にも気をつけています。

■ 1日のスケジュール



私のリフレッシュ方法

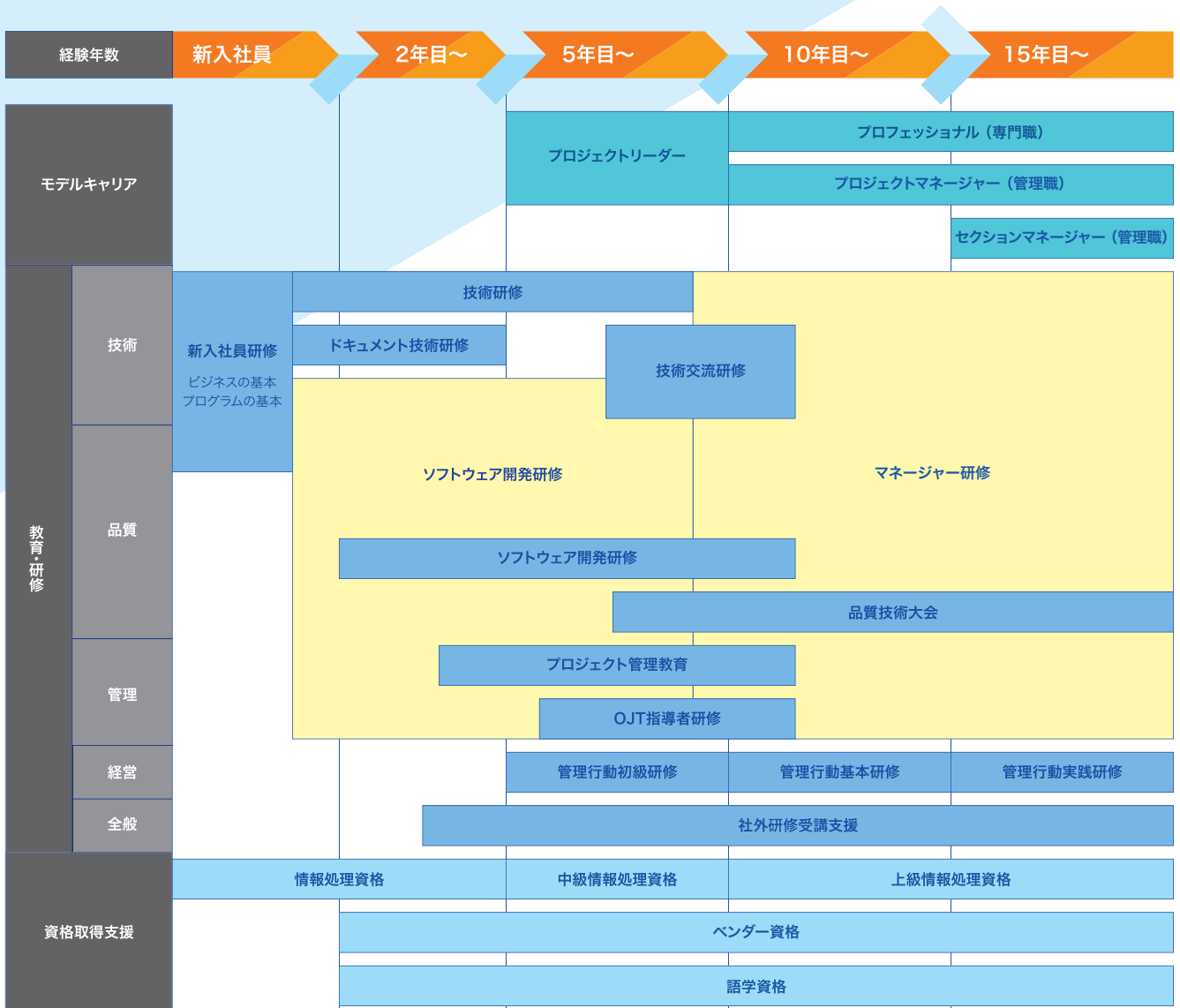
家族とゆっくり過ごす週末、夫婦共働きの支援制度も充実

ひとりで銭湯に行くこともありますが、家族との時間を大切に考えています。当社には子育てを支援する両立支援制度があり、子どもの発熱などで保育園に預けることが出来ない場合に、病児保育施設の利用料を会社が負担する福利厚生は大変助かります。

人材育成プログラム

ビジネスの基礎知識はもちろん、マネージメントスキルなどグローバル競争力の強化に取り組んでいます

未来への「熱い思い」や「夢」をバックアップします



体験者が語る新入社員研修



2017年入社
加藤 瞳

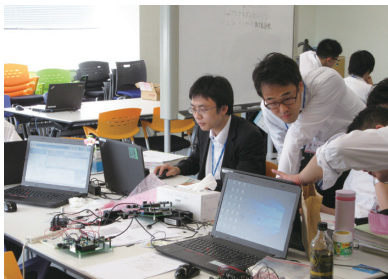
プログラミング初心者なので、研修前は何もわからない状態でした。コンピューターの基礎知識を理解してからは、先を行く同期たちとの一体感が芽生え、高いモチベーションで技術を吸収することが出来ました。生活と仕事の両面で、PDSサイクルを繰り返す習慣が身につけば、自分の成長を感じるようになると思います。



成長のステージに合わせた

研修制度

当社が活躍する社会インフラ分野は、高い設計力や高度なセキュリティ技術が必要とします。また、日々進化するIT技術にキャッチアップするためにも人材の育成は欠かせません。将来、管理職になるのか、専門職としてIT技術を磨くのか、一人ひとりのキャリア形成をサポートする豊富な研修制度を用意しています。

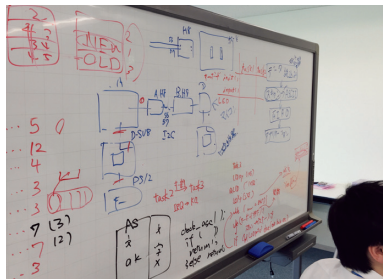


可能性を広げる

資格取得支援

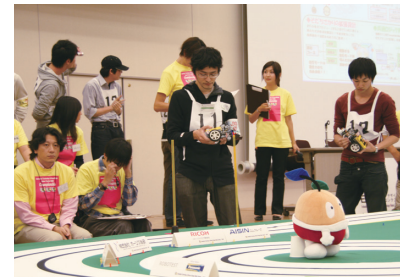


当社は入社して2年以内に基本情報技術者資格、5年以内に応用情報技術者資格の取得を目指し、集合教育やeラーニングを提供しています。昨今は、海外とのビジネス拡大にともない英語教育にも力を入れており、技術以外にもさまざまな支援プログラムがあります。また、資格取得に対する報奨金も充実しています。



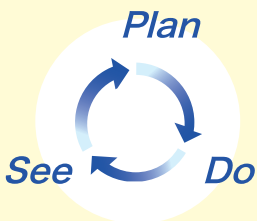
挑戦する力を育む

品質技術大会



開発環境は日々進化し、それを使いこなすだけでもある程度の品質を確保できるようになりました。しかし、品質向上への強い思いから、開発現場では生産性や品質を高めるための新しい取り組みがなされています。毎年6月に開かれる品質技術大会で選りすぐりの活動報告が行われ、全社で共有しています。

研修内容



PDCAサイクル

Plan(計画)、Do(実行)、See(評価)のサイクルを繰り返し、改善を図る手法

Part1 ビジネスマナー研修(2日間)

外部講師を招いて社会人としてのマナーと継続的改善手法であるPDSサイクルの基礎を徹底的に身につけます。数か月後にフォローアップ研修を実施し、振り返り、再徹底を図ります。

Part2 新入社員向け技術研修(20日間)

先輩社員が講師となり、仕事の仕方、基礎技術、プログラム開発などを厳しく、丁寧に指導します。

▼仕事のいろは

日報や報告会などにより報告・連絡・相談を徹底的に身につけます。また、講師によるドキュメントレビューを実施し、ドキュメントの書き方を学びます。

▼C言語

研修前半は、コンピューターの基礎、プログラミングの基礎を学びます。研修後半は、チームに分れ、役割分担を行い、課題システムの要件整理、設計、プログラム開発、テスト、納品まで開発の一連の作業を行います。

▼品質

作業を通じて、日本プロセスの「品質」への理解度を深めます。

キャリアパス

目指す将来像を踏まえ、目標に向かって道を引ける環境や制度を用意しています

入社5年目

チーム一丸となり、IoTで社会が抱える課題の解決に寄与する

IoTが「老朽化するインフラ問題」や「少子高齢化」、「環境問題」などの解決手段として期待されている中、チームで一丸となり、社会課題に挑むモノづくりに魅力を感じています。現在は次世代型ストレージ製品の開発プロジェクトに参画し、機能設計からコーディング、結合テストまで積極的にチャレンジ。初めての事は概して難しいことも多いですが、自らの技術でプログラムを機器に組み込み、期待通りに動いた時の喜びは格別です。今後は成功経験を自信に繋げ、プロジェクトの進捗管理や課題を解決できるリーダーを目指したいと思います。

組込システム事業部
2014年入社

竹下 太郎



入社5年目

仕事の背景を知ることは、より高度な仕事への糧となる

社会経済活動に不可欠な電力を安定的に供給するため、発電所の設備異常を早期に検出するシステムの設計・製作を行っています。エネルギー開発は、日本のインフラを支えるものであり、社会貢献性の高い事業です。大規模なシステムが徐々に形を現す過程は興味深く、自分自身の経験として蓄積されるため、より高度な製品開発に向かう励みとなります。漠然と日々の業務をこなすのではなく、「なぜ、このような仕様なのだろう」と疑問を持ち、背景を調べることを繰り返すうちに、エンジニアとしての成長を実感するようになりました。

制御システム事業部
2014年入社

東 宏樹



福利厚生・職場環境

社員の暮らしと健康を支える仕組みを提供しています

社会人生活にかかる負担を軽減

奨学金返済支援制度



近年、多くの学生が奨学金の貸与を受けて進学している状況を受け、奨学金返済を応援する制度を導入しています。入社する社員の5人に1人がこの制度を利用し、40人を超える実績があります。奨学金の返済を抱えながら仕事をする方の負担を少しでも減らし、より集中して業務に向かえる体制作りを心がけています。

社員同士の親睦を深める

イベント・懇親会



毎回100人～150人集まる恒例の社内懇親会。「社内メンバーのコミュニケーション」が活発になることで、業務にも大きな効果をもたらしています。「普段は気づかなかった一面」をお互いに知ることができ、先輩後輩に関わらず楽しめるイベントです。

入社 10年～

ライフステージに合わせた働き方と、育児への理解に感謝

二度の出産・復職を経験し、育児休業後は子育てをしながら時短勤務をしています。ダイバーシティを積極的に活かした職場は、フレンドリーで温かい環境です。突然の子供の発熱時には急ぎの対応が必要になりますが、同僚や上司が担当業務をサポートしてくれるおかげで、気軽に休暇を取得することが出来ます。まだ試行錯誤ですが、家庭と仕事を両立し、好きなモノづくりを楽しみながら働くことが目標です。キャリア形成とエンジニアとして成長を考え、Microsoft Azure Architect Technologiesの取得を目指し勉強中。将来はフルタイムに復帰する予定です。



産業インフラシステム事業部
2008年入社

姚 伶

入社 15年～

今でも変わらないのは、仕事とモノづくりへの興味

「ETロボコン」を主催する組込みシステム技術協会の会員として、『未来のものづくり』についてグローバルな視点で意見交換ができる場に参加。マネージャーとなった現在も、エンジニアとしての誇りを胸に技術のアップデートを心がけています。興味のあるモビリティの分野で、最先端の技術に触れることができる刺激と、顧客やエンドユーザー、メンバーとともに創った製品が市場に流通する達成感は感無量です。マネジメントスキルの向上と、英語力を身につけることなど、まだまだやりたいことで溢れています。



車載システム事業部
2002年入社

能登 祐二

Welfare & Work Environment

より長く働くための環境構築

「くるみんマーク」の取得



次世代育成支援対策推進法に基づき仕事と子育ての両立を図るために必要な雇用環境の整備を進め、2013年認定事業主として厚生労働省が定める認定マーク「くるみん」を取得しました。当社では、性別や雇用形態に関わらず、安心して子育てを行う環境を整えています。今後もより一層社員が働きやすい職場環境の整備を推進していきます。



【その他の制度・福利厚生】

- ・ 確定拠出年金制度または前払退職金制度
- ・ 社員持株会制度（奨励金20%）
- ・ 財産形成貯蓄制度
- ・ 奨学金返済支援制度（最大1,000,000円）
- ・ 生命保険団体扱加入制度
- ・ 育児支援制度
- ・ 当社保養所施設（長野県富士見高原）
- ・ 会員制リゾート施設
- ・ 福利厚生サービス
【バネフィット・ステーション】

数字で見る日本プロセス

JPD by the Numbers

当社の特長や各種データをご紹介します

平均年齢

37.8歳

(35歳以下 45%)



平均年収

687万円



奨学金
返済支援最大

100万円



平均有給取得率

66%

月平均
残業時間

12.3時間



平均勤続年数

13年



育休あけ復職率

100%



年間休日

125日



新卒3年以内

離職率 **9%**



5つの
事業セグメント



1967年

創業



創業来
連続黒字



顧客は
大手電機
メーカー

富士山型

の年齢構成



新卒採用
毎年 **30**名
以上



関東に
5つの
事業所



スタンダード
市場

2021年5月時点

コミュニケーションとチームワーク。 ゴールを理解し、仲間とともに歩いていける人財を。



代表取締役社長 多田 俊郎

私たちは創業以来、その時々で求められる難度の高いシステム開発に挑戦することで、お客様から高い信頼を獲得してきました。ITのちからで社会の基盤と未来の幸せを支えることをコーポレートビジョンに掲げ、社会インフラ分野において常に必要とされる企業であり続けることをめざしています。当社での業務は、計算機ばかりではなく、顧客や仲間、協力者などのステークホルダーである「人」と向き合うことではじめて成立するものだと考えています。ITの知識と技術は当然必要ですが、それ以上にコミュニケーションやチームワークが重要です。ゴールを理解し、そこへ向かうためにどうすべきか考え、ステークホルダーと調整し、仲間とともに協調して対処できる人財を求めています。また、その人が能力を遺憾なく発揮できるよう、企業として、仕事と生活の好循環のためのワークライフバランスに配慮し、成果を出した人がきちんと評価される制度を構築するなど、社員全員が持続的に成長の意欲を持てる職場環境の整備に努めています。

会社概要



商号	日本プロセス株式会社(略称:JPD)
英語名	Japan Process Development Co., Ltd.
設立	1967年6月
代表取締役社長	多田 俊郎
本社所在地	〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号 ゲートシティ大崎ウエストタワー22階 TEL:03-4531-2111(代表) FAX:03-4531-2110
資本金	14億8,740万円
上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
従業員数	562人(2021年5月31日現在)
事業内容	システム・インテグレーション及びソフトウェア開発



日本プロセス
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号 ゲートシティ大崎ウエストタワー22階
TEL:03-4531-2111 (代表) FAX:03-4531-2110 <https://www.jpdc.co.jp/>



◀ 採用情報はこちら

